



2016年7月26日



「DBJ BCM格付」「DBJ 健康経営(ヘルスマネジメント)格付」を取得 ～中四国地域の小売業として初めて、全ての格付を取得～

株式会社フジ(本社:愛媛県松山市、代表取締役社長:尾崎 英雄、以下「フジ」という。)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:柳 正憲、以下「DBJ」という。)による「DBJ BCM格付」および「DBJ 健康経営(ヘルスマネジメント)格付」(以下「DBJ 健康格付」という。)を取得しその融資制度の適用を受けましたので、その概要についてお知らせします。

「DBJ BCM格付」および「DBJ 健康格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により、企業の防災・事業継続への取り組みや従業員の健康配慮への取り組みを評点化、優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定する世界で初めての融資メニューです。今回、その格付システムにより、過年度に取得した「DBJ 環境格付」と合わせて、中四国地域の小売業としては初めて、DBJの評価認証型融資制度である「DBJ 環境格付」「DBJ BCM格付」「DBJ 健康格付」の3つ全ての格付を取得いたしました。

フジは今後も、事業継続性の強化をはかり、大規模災害等の災害が発生した場合にはライフラインとしての役割を果たし、地域の皆様のくらしに貢献できるよう努めてまいります。また、全従業員が健康にいきいきと働き続けられる職場環境づくりに取り組んでまいります。

【DBJ BCM格付 評価点】

- (1) 防災士の資格取得者中心に防災教育を徹底し、従業員一人一人が災害発生時に迅速に初動対応にあたれるよう意識付けを継続的に実施している点
- (2) 外部データセンターを活用した情報資産の移管やバックアップ回線の二重化など、有事の際のシステム寸断リスクを回避すべく冗長化対策を推進している点
- (3) 商品や備品について、サプライヤーとの間で有事の際の供給体制などリスク情報を共有し、災害発生時を想定した入出荷訓練を定期的の実施している点

【DBJ 健康格付 評価点】

- (1) 事業所毎に定期的にはリスクアセスメントを実施していることに加え、全社統括的な中央安全衛生委員会においてインフルエンザや腰痛防止など自社固有の問題について協議し、全社に情報提供している点
- (2) 外部専門窓口や精神科を専門とする産業医の活用並びに新任管理職への研修実施等、従業員のメンタルヘルスケアへの取り組みに着手している点
- (3) 女性活躍推進プロジェクトを立ち上げるなど、いきいきと「働きがい」をもって働き続けられる企業・職場づくりに注力している点

以上